

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年2月19日(2025.2.19)

【国際公開番号】WO2023/210570

【出願番号】特願2024-517306(P2024-517306)

【国際特許分類】

A 0 1 N 47/46(2006.01)

A 0 1 P 21/00(2006.01)

C 0 7 C 331/30(2006.01)

C 0 7 C 331/24(2006.01)

A 0 1 G 7/06(2006.01)

10

【F I】

A 0 1 N 47/46

A 0 1 P 21/00

C 0 7 C 331/30

C 0 7 C 331/24

A 0 1 G 7/06 A

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年10月23日(2023.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

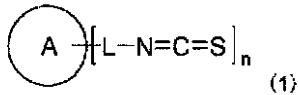
【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式(1):

【化1】

30



[式中：Aは置換されていてもよい単環である5～6員環を示す。Lは同一又は異なって、アルキル基及び/又はアリール基で置換されていてもよいアルキレン基を示す。nは1～6の整数を示す。]

で表される化合物、その塩、及びそれらの溶媒和物からなる群より選択される少なくとも1種を含有し、

40

前記Aがベンゼン環であり且つ前記nが1である場合は、前記Aが、置換されていてもよいアリール基、シアノ基、ヨウ素原子、及び置換されていてもよいアルコキシカルボニル基からなる群より選択される少なくとも1種で置換されたベンゼン環である、並びに/又は前記Lがアルキル基及び/又はアリール基で置換されたアルキレン基である、
、植物気孔開口調節剤。

【請求項2】

(削除)

【請求項3】

前記Aが、無置換の環である、或いは置換されていてもよいアルキル基、置換されていてもよいアルコキシ基、置換されていてもよいアルコキシカルボニル基、置換されていても

50

よいアール基、シアノ基、ハロゲン原子、ニトロ基、置換されていてもよいアミノ基、置換されていてもよいアミド基、置換されてもよいケトン基、置換されてもよいアンモニオ基、及び置換されてもよいチオ基からなる群より選択される少なくとも1種で置換された環である、請求項1に記載の植物気孔開口調節剤。

【請求項4】

前記Aの置換基が0～3個である、請求項1又は3に記載の植物気孔開口調節剤。

【請求項5】

(削除)

【請求項6】

(削除)

【請求項7】

植物気孔開口抑制剤である、請求項1、3又は4に記載の植物気孔開口調節剤。

【請求項8】

請求項1、3、4又は7に記載の植物気孔開口調節剤を含有する、乾燥耐性向上剤。

【請求項9】

萎れ抑制に用いるための、請求項8に記載の乾燥耐性向上剤。

【請求項10】

請求項1、3、4又は7に記載の植物気孔開口調節剤を植物に施用することを含む、乾燥耐性向上方法。

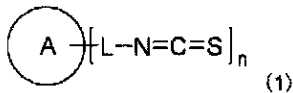
【請求項11】

請求項1、3、4又は7に記載の植物気孔開口調節剤を植物の気孔に接触させることを含む、請求項10に記載の乾燥耐性向上方法。

【請求項12】

一般式(1)：

【化2】



10

20

30

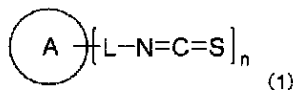
[式中：Aは置換されていてもよい環を示す。Lはリンカーを示す。nは1～6の整数を示す。]

で表される化合物、その塩、及びそれらの溶媒和物からなる群より選択される少なくとも1種を含有する、細胞膜プロトンポンプ酸化阻害剤。

【請求項13】

一般式(1)：

【化3】



40

[式中：Aは置換されていてもよい環を示す。Lはリンカーを示す。nは1～6の整数を示す。]

で表される化合物、その塩、及びそれらの溶媒和物からなる群より選択される少なくとも1種を含有する、植物の被覆又は支持用材。

50